

□ 温室効果ガス削減目標（追加審議事項）

■ 伊丹市域

環境基本計画で市域の削減目標を設定

削減目標

- ・ 2030年度**48%削減**(2013年度比)

目標設定の考え方（伊丹市域）

- ・ 国の削減目標（46%）をもとに補正（BAU等）
- ・ 兵庫県計画の削減目標（48%）との整合を図る
- ・ 市民・事業者への目標の共有と取組の推進

■ 市事務事業

削減目標は48%としながらも、
市域内で行政が先導的な取組を推進するため
野心的な削減目標の掲出

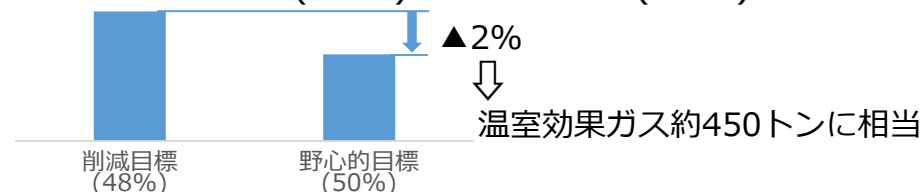
削減目標

- ・ **2030年度48%削減達成**とし、
さらに**50%の高みを目指す**
(2013年度比)

目標設定の考え方（市事務事業）

- ・ 国の削減目標（46%）をもとに算定
- ・ 兵庫県計画の削減目標（48%）との整合を図る
 - ☞ 県計画の全体削減目標(48%)と整合していれば、問題ないことを確認済。(県環境政策課)
- ・ 野心的な目標値50%の掲出について
 - ☞ 国の地球温暖化対策計画でも同様の記載がある。
あくまで、削減目標は48%とし、行政の率先行動を示すために掲出を行う。

(参考) 削減目標(48%)と野心的目標(50%)の差分



～追加の取り組み事例と削減効果～

新庁舎開庁による働き方改革（DX推進，リモートワーク），
節電や省エネ等の職員率先行動等

- ☞ リモートワークによる削減効果（100人/日） 150t
- ☞ 超勤レスによる削減効果 300t
(平均残業時間を半減(約20時間→約10時間))